

奥日光・雲竜溪谷 噂の氷瀑回廊へ（個人山行）

（報告）赤澤 東洋

◎山行日 : 2023年1月30日（月）

◎メンバー：赤澤他1名（妻）

もう20年以上前になるが何回かプロガイドのアイスクライミング講習会に参加し赤岳周辺で氷瀑と戯れた事がある。ジョウゴ沢の見事な氷瀑に感動したが、奥日光にも女峰山（2464m）の山懐深くに凄い所があると聞き、いつか行きたいものと思いながらグズグズしていたら、4年前に会員 M.S. さんの雲竜溪谷探訪記が当会会報第58号に掲載され昔を思い出し、行ってみたいと思った。が、折からのコロナ騒ぎの為延び延びとなってしまう、漸く最強寒波列島包囲で震えあがった直後の1月30日重い腰を上げ実現の運びとなった。

今回もいつものように老妻同伴、高速日光宇都宮道路日光 IC を出て日光市内に入ったが、雲竜溪谷はナビに表示されず林道入口が分からず東武日光駅前に戻り Taxi の運転手に訊くと「今年はまだ行ってないが、我々はスタッドレスタイヤの上にチェーンを巻いて入るところだから危険だ、入口に車を置いて歩いた方がいい」と脅されてしまった。

神橋を渡って霧降高原方面へ右折、すぐに稲荷川橋になるがこれは渡らずに手前日本蕎麦屋裏を左折、細い林道に行く。雪は少なくアイスバーンというわけでもないのでスタッドレスで充分だが狭い道路なので対向車が来るとすれ違い出来そうもなく、時速20^キ程度での慎重なハンドル操作で10数分、ゲートとなり先行車がもう10数台停まっていた。駐車スペースはなく100^ヤ程戻って林道わきに停車した。まだ9時前なのに皆さん出足が早い。

駐車場から先は左手の舗装された砂防工食用道路は下りに利用する事にし稲荷川右岸沿いの林道を真っすぐ進み、すぐに稲荷川を渡り広々とした河原に沿った遊歩道を辿る。

雪はなく登山靴のままなので1月末でこれだけかと少々拍子抜けの感ありだ。やがて左前方に大きな堰堤が見えてきて樹林帯の中30~40^ヤ程の急登を乗つ越すと広く開けた川原となった。ここが日向砂防堰堤で堰堤と云うより大きさはもうダムそのもの、正面に頭だけ見える白い頂きは小真名子山（2322m）だろう。

天気は大当たり、あまり寒くもなく絶好の登山日和、ガイドツアーらしい先行者を見ながら浅い流れは石に乗って飛び越し、赤ペンキを目印に広い川原をゆるゆると進む。やがて川幅は狭まり隘路となり、そのまま進んで沢登りする勇氣はなく左へ回り込み林道に合流しそこでアイゼンをつけた。工事用車両はその先まで入れるようで少し行くと消防車が2台停まっていた。休んでいた単独行者に訊



（日向砂防堰堤より稲荷川河原。正面奥は小真名子山）



（凍り付いた溪谷、転石伝いに徒渉）

くと林道に行くよりも沢沿いに行った方が近道と云うので、再び河原へ下ったが、左右大小のツララに囲まれた氷の世界、冷たそうな流れを飛び越えたり、凍り付いた転石を恐々伝ってと何回も渡渉する羽目になりアリヤリヤのリヤ、途中ゴルジュに行き詰まり少し引き返してウロウロしていたら4~5人のおば様達が下ってきてルートが判明ヤレヤレとなり結構やばかった。

登り詰めた林道は内ノ外山堰堤への終点でどこもかしこもツララに覆われ立派な氷壁が出来ていた。目的地の氷壁回廊はその裏側にあり展望台となっていて友知らずのゴルジュ帯入口が見え、林道を来た人達はここでヘルメットを被っていた。

展望台からは手すりの付いた急な階段を下って沢に入りすぐに氷瀑群連なる友知らずの氷の回廊となった。12時05分、出発から丁度3時間は予定より30分程オーバーだがまあヨシとしよう。ゴルジュ全面を覆う氷の回廊は高差15~20m、奥行き80m位に渡り、新雪積もった氷壁は氷のデコレーション、時期的には少し遅い位で溪谷右岸燕岩に架かるデカ氷柱は昨日まで2本あったらしいが今日は1本だけになっていたがなかなかのもの一見の価値ありだ。



(最奥の内ノ外山堰堤)



(溪谷左岸 友知らず氷壁 幅約80m)

アイスクライマーが群れているかと思ったが、最後の雲竜瀑に1組いるのみで見当たらなかったのは意外だったが、これは平日のせいだろう。その代りに氷瀑ツアーのグループが数パーティー入っていて賑わっていた。

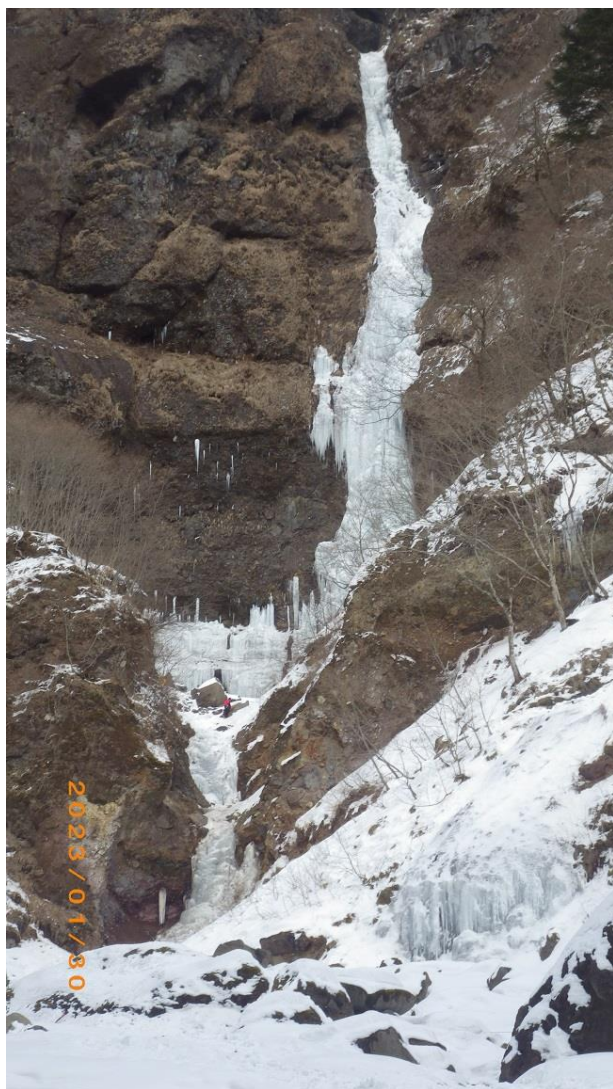
下山は2時間かけて林道を駆け下ったが、ゲート前の駐車スペースには1台も残ってなかったが、日光寄りの林道に沿って10台程後発者の車がまだ残っていた。



(溪谷左岸 氷デコレーション)

《コースタイム》

ゲート9:05→12:05 友知らず氷壁 12:30→14:30 ゲート
(雲竜瀑、燕岩のデカ氷柱の写真は次ページに掲載)



(最奥の雲竜瀑 2段 200メートル)



(溪谷右岸 燕岩のデカ氷柱)

★参考までに：地元ガイドと行く「雲竜溪谷氷瀑トレッキングツアー」の御難内

期間限定：1月中旬～2月下旬

費用：9500円～

スノーブーツ、スノーシュー、チェーンスパイク、ヘルメット、
ストック貸与代金含む

(雲竜溪谷周辺の地図は次ページに掲載)



(丁)